

南あわじ市平成 21 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 416

事業名	離島私立保育園運営費補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	児童福祉費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	保育所費・4目
南あわじ市総合計画 施策体系		まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__		
		まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)		
		施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える		

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市保育所の保育目標に同調し、家庭的な保育環境の中で、又、恵まれた自然環境を生かし、自然とのふれあいを大切にしたい保育を実施する。			
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 子ども達の1日の過ごし方については、児童の年齢及び児童個々の状況に応じ、担当保育士並びに施設長が協議しこれを定める。			
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)			
	施設名称：	ぬしま保育園	構成員人数(人)	5	
	住所：	南あわじ市沼島2484番地			
職員：	園長1名、保育士3名、調理師1名				
園児：	定員20人に1歳児2人、4歳児1人、5歳児5人 計8人				
事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ( )	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ( )	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )
補助金算出根拠	(定数 - 入所児童数) × 1月当たり40,000円 × 12ヶ月				
補助交付期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 平成 年度	<input type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から				

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	4,880	5,680	3,520	5,760	2,500
		4,880	5,680	3,520	5,760	2,500
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	4,880	5,680	3,520	5,760	2,500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	897	903	837	846	846
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30	30	30
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	5,777	6,583	4,357	6,606	3,346
	経費に関する 補足説明	補助事業等実績報告書				

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 運営補助金を交付したことにより、沼島地区の保育に欠ける乳幼児・幼児のために保育に当たることができた。				自己評価 (5点評価)						
					5						
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				自己評価 (5点評価)						
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 沼島地区の乳幼児・幼児をもつ共働き夫婦などが、安全、安心して生活できるよう保育にあたる必要がある。										
				5							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 沼島地区の乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できることで、共働き夫婦の安定した生活に寄与することができよう、継続して保育にあたる必要がある。				<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用対効果</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	評価	費用対効果	5	必要性	5
	項目	評価									
費用対効果	5										
必要性	5										

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>今後、ぬしま保育園に入園される園児が減少していくことが見込まれており、現在の補助制度では運営経費に対して補助額が過剰になることがあるので、現行の補助制度を見直す。</p>	<p>沼島地区の乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できるよう継続して保育にあたる必要がある。</p> <p>更に保育園運営管理の中長期的計画を整備するよう要望していく。</p>
(現状維持以外の改善方法)	<p>保育園の定員及び入園児童数に関係なく、臨時保育師1名にかかる人件費相当額を補助する。</p>	
改善によって期待される効果	<p>入園児童数が減少するにつれ補助金が増加する現行制度から、毎年度概ね一定額の補助となる。</p>	
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>沼島地区の共働き夫婦などが生活基盤の安定のために乳幼児・幼児を家に置きっぱなしにするか、又は生活が安定するまで子どもの出生を遅らすなど地区の生活環境に大きな弊害をもたらす。</p> <p>出生数及び入所児童数の極端な減少傾向の中、保育所運営費だけでは、保育所の経営は困難になってくるであろう。保育所がなくなると、沼島地区は過疎に一層の拍車がかかると考えられる。</p>	